

I 教会員は、共通の同じ御父、霊的な親を持っている。それ故に教会は神の家族。この霊的な親である父なる神は、人間がイメージする男性という父ではなく（自分の父親像と混同してはいけない）、父のような権威と広い心と母のような優しい愛を持っておられる私達の霊的な父性と母性の両方を包括し、超越しておられる「霊的な親」。「女が自分の乳飲み子を忘れるだろうか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとい女たちが忘れても、このわたしは、あなたを忘れない」イザヤ49：15。「神は人をご自身のかたち（御性質）として創造された。神のかたち（御性質）として人を創造し、男と女に彼らを創造された」創世記1：27。私達、キリスト者は、同じ御父を持つ、兄弟姉妹。主を信じ、洗礼を受け、神の家族である教会に加えられると、霊的な兄、姉、弟、妹が与えられる。とても嬉しい恵みである。肉親が少ない人々にとり、教会は正に新しい家族を実感できる。「兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう」詩篇133：1。

II 世の家族、親族は、肉親、血族とも言われる。同じ血でつながっている。神の家族である教会員も、同じ血（命）の恵みでつながっている。それはキリストの十字架の血の恵みである。そして私達キリスト者は霊的に主とつながっており、私達の心にキリストの命が通っている。深い強いつながりを与えられている。「あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです」：19。

III まず、神の驚くべき恵みを確認したい。神が、主の十字架の恵みを用意されたことは驚くべき恵みである。私達が、本来受けるべきものは、地獄、永遠の滅びだった。「自分の肉（生まれながらの罪の性質）の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、…生まれながら御怒りを受けるべき子らでした」2：3。私達は、罪に対する神の正しい怒りを受け、永遠に神から離れ滅んで当然だった。しかし、神はその滅びから救われた。しかし、神の救いの道はそこに留まらない。神は、私達を「高価で尊い」ご自身の子供として愛し、ご自分の家族の中に大切な子供として迎えて下さる。このすべてが、放蕩息子の譬えにある。息子は家に戻って、父親に「お父さん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。」父親は、放蕩はして来たが、雇人とはみなさない。大切な愛する息子として受け入れる。父は息子を抱きしめ、上着と指輪を持って来させ、肥えた牛を屠らせた。これこそ、私たちへの愛の深い神の救いである。何という救いの御計画！神の子として御前に立てる事だけで、感謝に満たされる！主を信じた私達は、ただ罪が赦され、永遠の滅びから救われただけではない。それ以上の恵み！永遠なる神の家族に神の子として迎え入れられたのである！

IV 主を信じる私達に与えられる特権＝偉大な神が、私達を心から愛して下さる父となって下さる！本来罪ある人間は、誰も近づけない聖い神に、神が愛して下さる子供として近づくことが出来る！「この方（キリスト）を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権（資格、権威）をお与えになった」Iヨハネ1：12。これにまさるものはない。つま

り私達が神の家族の一員に実際になるという恵みである。「事実、いま私たちは、神の子どもです—御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう」Iヨハネ3：1。私達は、自分が、神の家族に迎えられ、神に愛される神の子とされている恵みを自覚しているだろうか。ペテロも、私たちは「神のご性質にあずかる者となる」と言っている。この恵みが、主の教会が教会である理由であり、教会に素晴らしい希望がある根拠である。父なる神と私達の関係で、私達にとって真実な第2の恵みは、子供が親に対してそうであるように、神に近づく資格があるという特権。「私たちは、このキリストによって、両者ともに一つの御霊において、父のみもとに近づくことができます」と学んだ。「神に」近づくのではなく、「父に」近づくのである。この恵みは圧倒されるほどすごい事なので、そのままを受け入れる事がほとんどできないほどである。しかし、真実な事。※あるたとえ。父なる神は、私達のすべてに関心を持ち、耳を傾け、ご自身の心を一心に注いで下さる。私達は、神の子として御父に近づくことが出来、御父は私達をどんな時も受け止めて下さる。※証し。御父は私達に関心を持ち、愛を持って私たちをご覧になっている。「雀一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることがありません。また、あなた方の頭の毛さえも、みな数えられています。だから恐れることはありません」マタイ10：29-31。御父は、それほどまでに詳しく、私達の事をご存知。「あなたがたの父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます」6：32。私達が思い煩ったり、気をもんでいる事もご存知。愛あるお父様は、あなたの事も、あなたの必要も、あなたの心配している事もみな、あなた自身よりもご存知。真実な愛ある霊的な親として。私達は、神の家族のメンバー。神が私たちの父なので、主の祈りで「天にいます私たちの父よ」と呼びかけられる。確信と平安と確かさを持って御父に近づくことが出来る。かけがえのない愛で、いつも私達を受け入れて下さる御父。最も素晴らしい恵みは、父なる神との親しい交わりである。ここにも三位一体の神の役割分担がある。聖霊なる神は、私達の心の中で祈りを助けられる。「御霊も弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、なにをどう祈ったよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです」ローマ8：。御子なる神キリストは、私達がささげる祈りを父なる神に執成して下さる。「だが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです」ローマ8：34。イエス様の御名（私達の罪を十字架の死で完全に償って下さった）によって祈る祈りを父なる神は喜んで聞いて下さる。

V 神の家族の愛ある父である神との交わりを楽しみ大切にするキリスト者は、神の家族である兄弟姉妹との交わりをも大切にする霊的バランスが与えられる。神との交わりで、罪の赦し、深い愛をいただく。その後神は、神の家族である兄弟姉妹との交わりに導かれる。御言葉の恵みを分かち合う交わり。御名が崇められるように神の恵みを数え感謝をささげる交わり。神の家族として、今、本当に祈って欲しい事を出し合い、祈り合う交わり。祈り：別々に育った私達を神の教会に加え、神の家族にして下さり感謝します。神の家族として、教会に、次の世代を担う子供達が与えられている恵みを感謝します。若者達を主に導き寄り添い霊的に育てる若者担当の働き人を神の時に与えて下さい。信仰継承ができますように。